

議会の今を伝える

2017. 11. 1 No.47

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所

発行：沼田市議会議長 星野 稔

〒378-8501 沼田市西倉内町780

TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

沼田市議会 だより

改修中のTERRACE(テラス) 沼田

工事用仮囲いに市立幼稚園及び小中学校の子どもたちが制作した絵画など115作品を、来年10月頃まで展示しています。素晴らしい作品が展示されていますので、ぜひご覧ください。



9月定例会号

9月定例会は、9月8日に招集され、26日までの19日間の会期で開催されました。付議案件は、市当局から報告1件、条例3件、決算2件、補正予算8件、その他2件、人事3件の合計19件が提出され、全て原案可決、承認、異議なしとなりました。

議会からは、意見書1件が提出され、可決となりました。

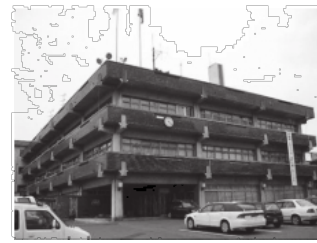
9月定例会の概要

議会日程表

第4回9月定例会		
月日	会議	内容
9月8日	本会議	開会 提案理由の説明 報告 質疑・討論・採決
9月14日	本会議	一般質問（4人）
9月15日	本会議	一般質問（4人）
9月19日	本会議	一般質問（2人） 質疑・討論・採決
9月20日	委員会	決算審査特別委員会
9月21日	委員会	決算審査特別委員会
9月22日	委員会	決算審査特別委員会
9月25日	委員会	決算審査特別委員会
9月26日	本会議	委員長報告 提案理由の説明 質疑・討論・採決 閉会

沼田市公共施設等
総合管理計画につ
いて

桑原 敏彦 議員



テラス沼田に集約される市役所庁舎

Q1 人口減少時代における公共施設の現状と課題について

A1 まず現状については、人口が40年後の平成67年には、2万2,948人となり、約55%が減少すると推計されています。このため、耐用年数の到来とともに施設の統廃合や複合化などにより本当に必要な施設を維持、更新していくことが求められており、公共施設等総合管理計画を着実に実行していくことにより対応してまいりたいと考えております。

Q2 今後の公共施設40%削減の計画について

A2 計画の実行段階において、短期間の実施計画をアクションプランとして定め、コストが高い施設や建築年数が長い施設など早期に対応すべき施設を抽出し、それらの施設について具体的な対応方針を定めます。

Q3 公共施設の近隣自治体間による共同設置・利用について

A3 総合管理計画では、公共施設の最適化を図るための再編等に向けた考え方を定めました。これには、複合化や多機能化、集約化、統廃合などとともに、広域連携として、施設を周辺自治体で共同所有もしくは役割分

担を担うことで負担を軽減することが含まれています。

従いまして、今後の各施設の対応方針を検討する中では、近隣自治体間による共同設置・共同利用も選択肢の一つであると考えております。

Q4 インフラ施設整備について

A4 インフラについては、これまでも施設類型ごとに個別計画を定め整備を推進してまいりましたが、今後は見直し時期を捉え、総合管理計画との整合を図りながら、長期的かつ全庁的な視点から、ニーズの変化により不用となる資産がないかを継続

的に確認し、総量の最適化を図りたいと考えております。

Q5 民間企業によるPFI導入の検討について

A5 インフラ施設の整備は、総量の最適化を図るとともに、民間のノウハウや資金の活用も積極的に検討することとしております。公民連携は、PFI方式や指定管理者制度、包括管理委託など、行政と民間がパートナーを組み、施設建設や事業運営等を実施するものでありますので、今後の施設更新などに際して、PFIの導入も視野に検討を進めたいと考えております。

介護保険について
災害対策について
スポーツの振興と
健康づくりにつ
いて
学校給食センター
について

大東 宣之 議員



ミズノと包括連携協定を締結

Q1 第7期計画における介護サービス量の見込みと介護保険料についての検討はどのようにされるのか伺います。

A1 市民のみなさんと事業者の考え方を計画に反映し、第6期計画期間の介護給付実績を基に、今後の高齢者人口の推移、介護サービス量の見込みなどから、第7期計画期間で必要となる介護給付費を算出した上で、国が示す所得段階区分を基に、本市の所得段階区分を設定し、必要となる第1号被保険者の介護保険料を推計して検討します。

Q2 利根川水系洪水浸水想定区

域の見直しについて伺います。

A2 この見直しは、みなかみ町後閑から戸鹿野橋までの間にける被害想定面積が、約120ヘクタールから約250ヘクタールに拡大したもので、地域防災計画を見直すとともに、今年度中に浸水被害が想定される地域への「浸水想定区域図」の配布を行いたいと考えております。

Q3 ミズノ株式会社との包括連携協定について伺います。

A3 ミズノ株式会社の持つノウハウやネットワークをいかし、スポーツや健康づくりに関する事業の充実を図るとともに、ス

ポーツを通じた様々な年代の市民相互交流と連帯感あふれるまちづくりの推進、地域のスポーツ振興や健康づくりなどに、連携して取り組んでまいりたいと考えております。

Q4 学校給食センターについて伺います。

A4 白沢調理場、利根調理場は老朽化による改築が必要な状況にあり、沼田給食センターは給排水設備等が耐用年数を経過し改修が必要な状況となっており、給食に必要な状況となっており、整備への多くのご要望をいただいたことなどが、運営・管

理の効率化と導入コストの低減を図るため3施設を統合した新給食センターの整備を計画いたしました。

自校方式のメリットもありますが、栄養教諭を含めた人員配置が必要となり人件費が高額となること。小中学校合わせた19校の整備費が莫大になってしまふこと。学校数が多く整備は長期になるため、合併特例債を活用できないことなどが検討されました。

その結果、合併特例債を活用し有利な整備が行えるセンター方式を採用しました。



図書館サービスの充実を

学習環境の充実について
生命の大切さを学ぶためのがん教育
図書館サービスの充実について

井上 弘 議員



田舎体験ツアーで沼田市をPR

新規就農総合支援事業について
観光宣伝事業について
都市間交流推進事業について
道路除雪事業について

茂木 清七 議員

Q2 生徒の健康管理のためにも、いい教育環境整備に努めてまいりたいと考えます。

Q3 がん教育の必要性についてどのようにお考えか、また、本市の学校におけるがん教育の実

Q1 学校普通教室へのエアコン設置は、勉学に真剣に取り組む児童・生徒の健康を守ることに効果的と考えますが、学校の教室への冷房設備設置状況と今後の予定について伺います。

A2 夏季の部活動は、朝の涼しい時間帯に活動したり、適宜休憩を入れる中で、こまめに水分補給したりするなどして、熱中症予防に努めています。

Q2 全国で高齢化が進んでいますが、沼田市では更に加速しています。食料を生産している一次産業の活性化をどのように行うのか伺います。

A3 歴史・自然・食の新たな資源を掘り起こし、旅行エージェントなど誘客活動、雑誌の掲載、テレビ番組の働きかけ、SNS等インターネット利用なども研

Q1 今、日本の農業人口は年々減り続け、食料自給率も40%を切り先進国の中では最低の水準です。このような中、本市では就農意欲のある農業青年の確保をどのようにしていくのか。

A2 意欲ある農業者に農地の集積と鳥獣侵入防止柵、捕獲を行い、ブランド化や6次産業化の推進も行っています。今後も、都市と農村の地域間交流を進め地域農業の活性化を図っていききたいと思えます。

Q4 行政と企業と地域の結びつきとして、雑誌スポンサー制度導入についてお考えを伺います。

A5 読書習慣の定着と図書館利用の啓発のため、昨年4月に手書き方式の読書通帳を作成し、中学生以下の希望する子供に無料で配布しています。

A1 市内小・中学校20校の教室への冷房設備設置状況は、多目的スペースなどで7校、パソコン教室及び保健室については全校に設置していますが、普通教室においては2校です。

Q5 「読書通帳」配布開始から既に1年以上が経過しましたが、「読書通帳」を導入したことによる効果について伺います。

A3 歴史・自然・食の新たな資源を掘り起こし、旅行エージェントなど誘客活動、雑誌の掲載、テレビ番組の働きかけ、SNS等インターネット利用なども研究していきたいと考えます。

Q6 地域除雪協力隊の取り組みと今後の進め方について

Q4 地域資源の温泉、老神温泉の今後の活用方法について

A6 川田地区の除雪協力隊のような自助・共助の取り組みは大変ありがたく、そのような取り組みに対して除雪機等の購入補助や除排雪作業の助成等支援を考えています。

究していききたいと思えます。
Q4 地域資源の温泉、老神温泉の今後の活用方法について
A4 観光協会が取り組んでいる台湾との交流や、地元の農産物と都市住民との交流の取り組みなど行政としても支援を継続したいと考えています。
Q5 農業体験を取り入れた民泊では、みなかみ町が平成21年度から取り組んでおり昨年度は1万人に届くくらいでした。農業の体験、地元の歴史の話をして地域を理解していただき、また家族で遊びに来ていただき、そのような取り組みが本市でも必
Q6 地域除雪協力隊の取り組みと今後の進め方について
A6 川田地区の除雪協力隊のような自助・共助の取り組みは大変ありがたく、そのような取り組みに対して除雪機等の購入補助や除排雪作業の助成等支援を考えています。

要ではないかと思えますが、市長の考えを伺います。
A5 今、田んぼ編・スローフード編・親子で農業編など田舎体験ツアーを実施し、取り組んでいます。農家民泊の可能性についても引き続き研究したいと考えています。



見えない障害バッジ

見えない障がいへの理解と協力
再生可能エネルギー
発電設備設置事業と景観
がんと受診率向上
利根町道路問題
農業後継者問題

星野妙子 議員(一問一答)



事業が進む3・3・1環状線(栄町工区)

明日の沼田をつくる
元気みらい創造予算
について
効率的な予算執行に
伴う平成28年度決算
及び効果について
平成28年度決算概要
や推計について

中村 浩二 議員

「A1」障がいのあることを理解してもらおう手段として良い取り組みではあります。各地域の取り組み状況を注視し、導入については群馬県・他市との情報交換を行いたいと思います。

「Q1」沼田市では沼田市障害者福祉計画で「障がい者差別をなくすための啓発活動」を策定しお互いを尊重する社会づくりを推進しています。「見えない障がい」から周囲の理解が得られず偏見に傷つき苦しむ障がい者や家族への協力と理解を求めるバッジやワッペン等の導入について伺います。

「A1」心豊かな暮らしを実感できるまちづくり」では、消防車両整備事業、3・3・1環状線(栄町工区)事業など18項目を「地域のポテンシャルを活かした活力あるまちづくり」では、グリーンベル21整備事業、大河ドラマ「真田丸」活用推進事業など、繰越事業を含め18項目を、

「Q1」心豊かな暮らしを実感できるまちづくり・地域のポテンシャルを活かした活力あるまちづくり・誰もが知恵を出し合い地域を大切に作るまちづくりの平成28年度予算執行の効果について伺います。

「Q3」2人に1人が罹患する「がん」から大切な人を守る検診受診率向上に向けた具体的な啓発

「A2」1,000平方メートル以上3,000平方メートル未満の土地への発電設備設置に対する指導と助言を含め景観との調和を要綱に規定し平成29年10月1日告示、平成30年1月1日の施行に向け手続き中です。

「Q2」昨年9月議会で私が一般質問しました沼田市における「再生可能エネルギー発電設備設置事業」と「景観」の調和について、要綱作成はどこまで進んだのか伺います。

「A2」本戦略は、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画として様々な事業に取り組みんでおり、年度ごとに評価及び進捗管理を行っております。平成28年度事業につきましても、「沼田市民構想会議」において、事

「Q2」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みによる効果について伺います。

「誰かが知恵を出し合い地域を大切に作るまちづくり」では、総合計画策定事業、公共施設等総合管理計画策定事業など9項目を掲げ施策を実施し、一定の結果があつたと考えております。

「A4」平成26年度から拡幅改良事業を行い平成28年度末の進捗率は全体計画の約27%、事業費へ17%です。県が実施する国道120号整備計画と調整を図り

「Q4」利根町大原から老神温泉T106号線道路改良工事の進捗状況と工事完了予定時期について伺います。

「A3」未受診者への勧奨ハガキ送付、電話による個別勧奨、夜間・休日検診の実施、大型小売店等に休日検診ポスターを掲示しチラシ配布を行い活動を充実しました。

「Q4」一般会計における市債残高と借入額及び普通交付税について

「A3」実質公債費比率は、既存の地方債の償還が順調に進み、ここ数年減少となっており、今後同様の傾向が続くと推計されます。その後は大型事業に伴う起債の増加等が見込まれることから、後年度における公債費負担が加重とならないよう留意してまいりたいと考えております。

「Q3」実質公債費比率について、今後どのように推計し対応していくのか伺います。

業効果の検証等を行ってまいりたいと考えております。

「A5」農業後継者の対応として就業意欲のある農業後継者の確保とともに担い手への農地の集積を図ることが必要であり、農地中間管理事業を活用し農地の貸し手から担い手へ効率的な農地集積が図れるよう群馬県・関連団体と連携を図り推進します。

「Q5」農業人口の約6割が65歳以上という推計の中で沼田の農業を担う後継者問題への対応と課題について伺います。

今年度詳細設計を進め来年度以降地権者等関係者への交渉に入り平成33年度の事業完了を目標に事業推進を図ってまいります。

「Q4」一般会計における市債残高と借入額及び普通交付税について

「A4」市債残高及び借入額でありますが、今後、大型事業の実施に伴い平成31年度まで増加傾向にあると推計しております。普通交付税ですが、合併算定替えによる縮減が減額の主な要因と考えられますが、平成31年度まで縮減は継続しますので、今後減少傾向にあると推計しております。普通交付税の減少については、自主財源の確保や行政改革の推進などにより、経常経費の削減に努めてまいりたいと考えております。

「A4」市債残高及び借入額でありますが、今後、大型事業の実施に伴い平成31年度まで増加傾向にあると推計しております。普通交付税ですが、合併算定替えによる縮減が減額の主な要因と考えられますが、平成31年度まで縮減は継続しますので、今後減少傾向にあると推計しております。普通交付税の減少については、自主財源の確保や行政改革の推進などにより、経常経費の削減に努めてまいりたいと考えております。



段差解消、視覚障害者誘導用ブロック設置でバリアフリー化

活力ある産業都市沼田をめざし「産業振興条例」の制定について
経済活動や市民生活に直結する道路の計画的整備について

井之川 博幸 議員



統合が予定される給食センター

人口減少社会と合併特例債バブル
新給食センター（仮称）利南運動広場
天空の城下町

金子浩隆 議員（一問一答）

A3 今後、必要な施策の実施に向け調査研究してまいりたいと考えています。

Q3 小規模企業振興基本法に基づく施策の計画及び実施について

A2 制度のあり方について研究してまいりたいと考えています。

Q2 中小企業憲章を制定することについて

A1 本市の中小企業の景況感

は、都市部における景気回復の兆しとは異なり、その実感を感

じるまでには至っていません。

Q1 市内の現在の経済状況をどのようにとらえているのか。

Q2 急激な人口減少、右肩下がり

の財政の中で、期限までの合併特例債充当予定の事業はどれ

だけあって、総額はいくらになる

のでしょうか。

A1 「安定した雇用を創出する」

「新しい人の流れをつくる」

「若い世代の結婚・出産・子育て

の希望をかなえる」時代にあ

った地域をつくり安心なくらし

を守るとともに、地域と地域を

連携する」の4基本目標を掲げ、

A5 条例等の整備について、研究してまいりたいと考えています。

Q5 事業者、経済団体、市民、市が一体となり、枠組みを超えて連携し、循環経済などの考え

も取り入れ、産業の振興をめざす「地域産業の活性化宣言」と

もいわれる（仮称）沼田市産業振興条例を策定することについて

A4 必要に応じ審議会を開催し、市内商工業の振興に努めて

まいりたいと考えています。

Q4 市内中小商工業者の意見を聞くための必要な機関（審議会

など）を設置することについて

Q3 合併特例債は、打ち出の小

づちではありません。「子ども

たちに地元産のお米を使った炊

き立てのご飯を」と熱望してき

ましたが、16億8,700万円

もの新たな給食センター建設ま

で必要なのでしょうか。

A2 これまでの合併特例債充当

事業は、利根小学校舎、薄根中柔

剣道場、保健福祉センター大規

模改修など総額38億5,260

また、計画廃止となる路線や近隣道路の整備については、今後必要に応じ、対応等を研究して

A6 メリットとしては、時代に即した計画となることや土地所有者が規制を受けてきた土地利用制限が解消されることなどで

す。デメリットとしては、計画廃止となる路線や近隣道路の整備について、課題が残ること。

Q6 都市計画道路の計画見直し

によるメリット・デメリットについてどのようにとらえている

のか。また、計画変更による既存の道路や交通体系についての

今後の対応について

A4 これまで建設コストやランニングコストの圧縮を強く意識

しながら検討してきました。今後は、多くの方々にご利用しやすい施設として建設していきます。

Q4（仮称）利南運動広場の実施

設計の総額は限りなく20億円に

近く、工事費の削減が本当に検討されたのか、巨額のスタジアムが本当に必要なか、疑問視する

多くの市民の声が上がっています。いま一度立ち止まって、考えるべきではないでしょうか。

A3 炊飯施設単独での新設、既存施設の増改築、3施設の統合

整備について比較検討を行った結果、老朽化等が進む3施設の統合と炊飯施設の整備を併せて

行うこととしました。

Q5 9月補正予算の「沼田城建設基金」に市民から多額の浄財

が寄せられています。「真田丸」

効果を一過性のものにする

また、計画廃止となる路線や近隣道路の整備については、今後必要に応じ、対応等を研究して

Q8 機能的にも景観的にも劣化している生活道路の整備計画を推進することについて

A7 今後、道路改修を行う際に歩道の設置や段差の解消、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等、バリアフリー化基準に適合するよう努めてまいりたいと考えています。

Q7 車いすでも外出ができるようにと、障がい者団体からの改善要望に対する対応について

A5 沼田市の史跡から上位指定（県・国史跡を見据えて、国や県の指導を受けながら、基礎となる発掘調査等）にしっかりと取り組んでいきます。

Q6 都市計画道路の計画見直し

によるメリット・デメリットについてどのようにとらえているのか。また、計画変更による既存の道路や交通体系についての今後の対応について

A4 これまで建設コストやランニングコストの圧縮を強く意識しながら検討してきました。今後は、多くの方々にご利用しやすい施設として建設していきます。

Q5 9月補正予算の「沼田城建設基金」に市民から多額の浄財が寄せられています。「真田丸」

効果を一過性のものにする

なく、観光振興、観光誘客のため、沼田公園長期整備構想の推進に市長はどのように取り組んでいくのでしょうか。

A3 炊飯施設単独での新設、既存施設の増改築、3施設の統合整備について比較検討を行った結果、老朽化等が進む3施設の統合と炊飯施設の整備を併せて行うこととしました。

Q4（仮称）利南運動広場の実施設計の総額は限りなく20億円に近く、工事費の削減が本当に検討されたのか、巨額のスタジアムが本当に必要なか、疑問視する

多くの市民の声が上がっています。いま一度立ち止まって、考えるべきではないでしょうか。

A2 これまでの合併特例債充当事業は、利根小学校舎、薄根中柔剣道場、保健福祉センター大規模改修など総額38億5,260万円。期限内の合併特例債充当

予定の事業は、庁舎等複合施設、（仮称）利南運動広場、市民体育館整備、新学校給食センターで、総額100億円程度です。

Q3 合併特例債は、打ち出の小づちではありません。「子どもたちに地元産のお米を使った炊き立てのご飯を」と熱望してき

ましたが、16億8,700万円もの新たな給食センター建設まで必要なのでしょうか。

A1 「安定した雇用を創出する」「新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」時代にあ



移転予定の沼田公園野球場

教育関連施設整備と今後のあり方について
本市の将来像と今成すべきインフラ整備への基本的な考え方について

高柳 勝巳 議員



ママ・主婦の働きたいを応援する就職面接会

本市の引続きでの大きな問題点について

星野 佐善太 議員

しかし、利根沼田産のお米は評価が高く、多くは縁故米等で比較的高値で取引されていること、耕作面積が減少していることなどの課題も多くあります。

新たに整備する施設につきましても、市全体の施設の枠組みの中で、こうした考え方に基づいて整備、運用していくことに

地産地消の推進等については、地域の農業や食文化の理解が深まるなどの教育効果が期待

このような状況から、規格に則したスポーツ施設が必要であり、併せて、建設コストやランニングコストの圧縮を強く意識し、検討してまいりました。

Q1 教育関連施設整備と今後のあり方について伺います。
A1 現在、学校給食につきましては、利根沼田産を含めた群馬県産米がブレンドされ、群馬県学校給食会よりご飯として提供されており、児童生徒に利根沼田産の美味しいお米を週3回提供する場合、年間約40トンが必要になると試算しております。

Q2 教育関連施設及びテラス沼田を含めた建設費及び改修費推計とランニングコストの推計と対応について伺います。
A2 施設の長期活用は、単年度当たりの更新費用が縮減されま

Q3 学校給食におけるアレルギー対策や地産地消の推進等の具体的内容について伺います。
A3 本市のアレルギー対応者は94名となっており、対応は非常に困難な状況です。

Q4 (仮称)利南運動広場整備事業について、真にその適正規模であり適正費用であったか、その具体的内容を伺います。
A4 沼田公園内の野球場及びテニスコートは、スポーツ施設の規格に合った仕様でないことから、県レベルの大会を開催できない状況にあります。

Q1 人口減少、人口流出、少子高齢化が進む中で、子育て支援の対策はどのように進められるのか伺います。
A1 本市におきましては、「沼田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の事業を実施しております。今後も地域のニーズを見極めながら充実を図りたいと考えております。
Q2 自立した生活が困難な人への対策はどのように進められるのか伺います。
A2 安心して地域で暮らすために、関係機関等と連携を図り支援を行いたいと考えております。

また、ご本人の資産や能力を活用しても自立した生活が困難な方には、生活保護制度にて自立に向けた援助をしております。
Q3 観光都市として本市の自然景観の魅力の発信と観光果樹園の観光客誘致の促進について伺います。
A3 メディアへの宣伝活動、SNSを活用した情報発信を積極的に行い、旅行エージェントへの誘客活動やインバウンド推進事業とも併せて観光客誘致に取り組みたいと考えております。
Q4 集客のための新たな交通機関の誘致と道路網の整備活用について伺います。

Q5 雇用の拡大を図るための地元企業への支援について伺います。
A5 新規卒業者、働きたい女性と地域企業との就職面接会、就業支援相談、特定求職者雇用企業支援などを実施しております。

業奨励金やトライアル雇用支援奨励金交付事業の実施、企業誘致等による雇用の創出支援に取り組みたいと考えております。
Q6 地域経済の活性化を図るための経済団体・地元企業との協力連携について伺います。
A6 本市では毎年、市内経営者同士が情報交換などを行う機会を設けており、地元企業が協力連携し経済の活性化に取り組んでおります。地元での資材購入につきましては、市内企業の育成を図る観点からも特殊な資材等を除き、市内企業へ優先的に発注を行っております。

性質別決算比較表

	平成28年度		平成27年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
人件費	3,837,850	17.3	4,003,236	17.6
物件費	2,706,970	12.2	2,872,238	12.6
維持補修費	563,597	2.5	529,976	2.3
扶助費	4,371,253	19.7	4,098,316	18.0
補助費等	2,465,995	11.1	2,605,313	11.4
公債費	2,262,289	10.2	2,294,375	10.1
積立金	199,799	0.9	123,157	0.6
投資及び出資・貸付金	161,362	0.7	162,130	0.7
繰出金	3,152,319	14.2	3,217,254	14.1
普通建設事業費	2,448,662	11.0	2,805,197	12.3
災害復旧費	52,258	0.2	63,910	0.3
歳出合計	22,222,354	100.0	22,775,102	100.0

平成28年度
決算についての説明(概要)

平成28年度一般会計は、歳入決算額230億1,422万2,541円で、前年度対比4億1,695万8,402円、1.8%の減、歳出決算額222億2,355万3,930円で、前年度対比5億5,274万7,574円、2.4%の減で、歳入歳出差引額は、7億9,186万8,611円で収束しました。

総務費では、下田市姉妹都市締結50周年記念事業として、相互訪問と記念植樹などを実施し、友好関係を深めました。

企画管理費は、市民構想会議で提言書を市長に提出し、市政運営の基本指針となる沼田市第6次総合計画を策定しました。

戸籍住民基本台帳事業は、個人番号の指定・通知及び個人番号カードの交付を行いました。

民生費では、社会福祉対策と

して、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会など関係機関や諸団体の協力を得て、少子・高齢社会に対応した諸施策の推進に努めました。

保健福祉センターは、経年劣化による冷暖房の空調設備等の改修及び機器等の設置、配管に伴う屋根や外壁の修繕の大規模改修を実施しました。

児童福祉対策は、民間団体の協力による結婚を応援する事業の実施など、結婚から子育てまで切れ目のない支援の推進に努めました。

労働費では、労働対策として、子育てを応援する企業育成に係る支援などに取り組み、建設業の担い手を育てる訓練施設へ支援を実施し、労働力の地域への定着と雇用の安定を図りました。

農林水産業費では、沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進協議会に事業を委託し、ぬまたブランド農産物認証事業、地域の農産物を活用した6次産業化の商品開発及び販路開拓等を図りました。また、新規就農支援として、認定新規就農者に対し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、青年就農給付金(経営開始型)の給付を行います。

土工費では、起業を志す人が会社経営を学ぶ「ぬまた起業塾」を開講し、創業者の育成・支援を図りました。

商業施設として整備されたグリーンベル21を庁舎等複合施設として活用するため、説明会及びパブリックコメントなどの意見を参考に「新庁舎等整備実施設計」をまとめ、旧商業施設棟の一部を上州沼田真田丸展の特設会場とし活用を図るなど、適切な管理に努めました。

工業振興は、横塚生品農工地区内の市道拡幅に係る実施設計業務及び市内立地企業等への補助を実施しました。

観光振興は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送開始に伴い、「利根沼田真田丸プロジェクト推進協議会」を組織し、「上州沼田真田丸展」を開催し、「真田の里 沼田」を全国にPRしました。

土木費では、市道大原老神線の道路改良工事を実施し、市道の整備に努めました。

都市計画街路は、3・3・1環状線(栄町工区)において、市道坊新田沼須線交差点から東側で、用地買収、付属する物件等の移転補償及び土地鑑定評価並びに道路改良工事を実施しました。

中心市街地街なか再生関連は、にぎわいの核においてトイレ新築工事及び外構工事を行いました。

消防費では、災害対策として、利根町柿平地内で発生した土砂災害に伴い、住宅内に流入した土砂等の撤去を迅速に行い、生活環境の早期復旧に努めました。

学校施設整備は、沼田小学校西校舎の耐震補強及び大規模改修工事や沼田北小学校北校舎の耐震改修工事、白沢中学校校舎耐震補強等改修工事のほか、利根小学校新校舎建築工事に着手しました。

文化財は、「真田丸」の放映と併行して、真田時代における沼田城の様子を明らかにするため、沼田城遺跡の本丸跡付近の発掘調査を実施しました。

体育は、(仮称)利南運動広場の整備を図るため、基本設計業務を実施しました。

災害復旧費では、昨年9月の台風13号により被害を受けた農地、市道等の復旧工事等を行いました。

**平成28年度
決算審査特別委員会概要**

委員長に小野要二議員、副委員長に永井敏博議員を選出して、167件の質疑が行われました。一部ですが、概要を掲載いたします。

○子ども議会開催事業

3,300円

質疑趣旨 高校生参加の状況、感想や成果について伺います。

答弁趣旨 市議会委員会等から高校生を含めた議会開催の意見を受け、高校生を含めた子ども議会として開催しました。

参加者は、市内小中学校からの推薦による20名と、利根沼田の各高校から推薦の10名です。

参加者の感想については、「年代の違う人の意見を聞けてよかった」、「自分の知りたかった



子ども議会の様子

点を市長や教育長から聞けた」、「色々な視点があることに気づきとても勉強になった」などの感想をいただいています。

子ども議会の参加者が、市政に対する関心が高まり、自分自身でも市のために何かできないかという考え方に変化を与えられたこと、市政について世代間で様々な意見があること知り、貴重な経験と刺激を受けることができました。

**○ひとを守る・まちを守る
防災ぬまた推進事業**

4,235,893円

質疑趣旨 自主防災組織、各町等との要援護者の情報共有についてどのように検討、対応がされたのか、自主防災組織の組織状況とどのような活動がされているのか伺います。

答弁趣旨 平成27年3月に作成した「避難行動要支援者名簿」を保有していますが、個人情報保護の観点から積極的な情報提供は行っておりません。組織状況は平成28年度に7地区で設立され、年度末で68地区、84%の設立です。市で把握している活動内容は、5団体で6回、延べ200人が参加した「炊き出し・消火栓・救出救助・避難所運営・避



防災訓練の様子

難経路確認」等の訓練及び「防災意識向上の講座」等です。

○準市民交流事業

1,565,207円

質疑趣旨 交流会参加者と運営方法について伺います。

答弁趣旨 参加者数は、第1部のバスハイクが36名、第2部の歓迎セレモニーが148名です。前年と比較すると、第1部が2名減、第2部が14名減となっております。運営方法は、沼田市準市民交流会実行委員会に委託し、内容の検討、交流会の実施をお願いしています。

○グリーンベル21整備事業

101,216,720円

質疑趣旨 説明会、パブリックコメント等での市民意見等の反映はどのようにされ、職員の意見集約、反映はどのようにされた

のか伺います。

答弁趣旨 複合施設としてのビル再生に向けて、多くのご意見をいただいたことから、現在、継続中の事柄もありますが、実施設計をまとめる中で調整をしてきました。

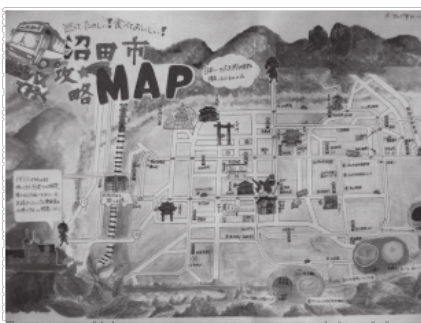
分散している庁舎の集約・整備にあたり、ビル全体の施設設計と並行して、「新庁舎オフィス環境整備設計業務」に取り組み、移転集約する全ての課を対象としてヒアリングを行い、各部課の配置をはじめ、相談室や書庫の設置など、庁舎内のレイアウトをまとめました。

○市町村乗合バス運行事業

72,559,619円

質疑趣旨 利用促進施策の内容と効果について伺います。

答弁趣旨 利用促進のための主な



沼女生徒が作成してくれたマップ

施策は、時刻表を6,000部作成したほか、沼田女子高校美術部および文芸部の生徒のみなさんにご協力いただき、イラストマップ付きのチラシを2万部作成し、市役所の窓口、JR沼田駅および上毛高原駅、観光案内所などに置いて周知啓発に努めました。また、沼田北小学校の2年生を対象に「バスの乗り方教室」を実施し、小さい頃から公共交通に親しんでもらえるよう働きかけました。

利用者数は10本の委託路線全体では若干減少傾向にありますが、前年度に比べて増加した路線もあり、平成27年9月から運行を開始した沼須線により、全体の利用者数が増えています。



太陽光発電設備が設置された南保育園

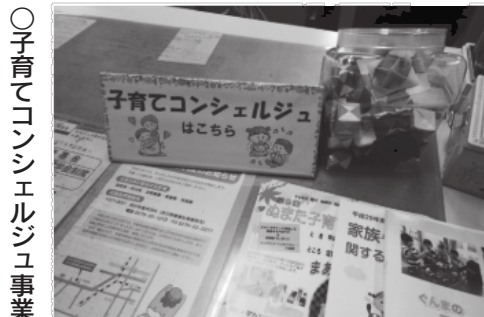
○自然エネルギー利用推進事業
9,136,800円



色々なイベントを実施

質疑趣旨 CO₂削減目標を含む成果と課題について伺います。
答弁趣旨 福祉避難所に指定されている白沢創作館に、太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。CO₂の削減効果は、平成29年1月から8月までの実績となりますが、発電量は1万2,128キロワットアワーで、約4トンのCO₂を削減しました。
○ハッピープロジェクト事業
 1,635,184円
質疑趣旨 事業内容と成果について伺います。
答弁趣旨 結婚から出産・子育てまで切れ目のない支援の一環として、結婚を応援する団体間のネットワーク「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」を立ち上げ、ネットワークへの委託事業として、サポーターの養成、

○子育てコンシェルジュ事業
 2,234,337円
質疑趣旨 成果と課題への検討について伺います。
答弁趣旨 それぞれの家庭に一番ふさわしい子育て支援メニューをコーディネートするため、子育てコンシェルジュを子ども課窓口に配置しています。より多くのご家庭と接し、希望を聴き取ることが課題であると考えておりますので、健康課



コンシェルジュにご相談ください

結婚支援セミナーや出会いイベントなどを実施し、若い世代の出会いの場の創出や、若い世代が自信をもってイベント等に参加するための支援を行いました。運営委員会に参加する若い世代が自発的に事業を進めることにより、同世代に向けて共通の情報発信ができました。

○健康増進事業
 47,749,403円
質疑趣旨 診査、検査、検診などの受診率向上のための取り組みはどのようなものか伺います。
答弁趣旨 広報やホームページ、回覧版などで周知を図るとともに、名前が記載された受診券や受診シールを個別に送付し、受診できる健康診査やがん検診がひと目でわかるようにして受診忘れがないよう工夫しています。また、土日健診や女性に限定したレディースデイを設け、受診者の増加に努め、検診期間の後半には未受診者への受診勧奨ハガキの送付や電話勧奨等を実施し、さらに、保健推進員の「健診・検診を受けよう運動」での声かけやかかりつけ医からの受診勧奨を依頼しました。
○地域おこし協力隊設置事業
 6,794,827円
質疑趣旨 事業内容と効果について伺います。
答弁趣旨 サルの動向調査や鳥獣被害調査を行うとともに、鳥獣被害対策実施隊と連携し、捕獲

所管の育児相談など親子が集まる場所に向き相談を実施しました。
○健康増進事業
 47,749,403円
質疑趣旨 診査、検査、検診などの受診率向上のための取り組みはどのようなものか伺います。
答弁趣旨 広報やホームページ、回覧版などで周知を図るとともに、名前が記載された受診券や受診シールを個別に送付し、受診できる健康診査やがん検診がひと目でわかるようにして受診忘れがないよう工夫しています。また、土日健診や女性に限定したレディースデイを設け、受診者の増加に努め、検診期間の後半には未受診者への受診勧奨ハガキの送付や電話勧奨等を実施し、さらに、保健推進員の「健診・検診を受けよう運動」での声かけやかかりつけ医からの受診勧奨を依頼しました。

個体の調査・確認、捕獲機材の管理などを行っています。また、利根町で開催されるイベント等への支援や地域住民として地元のお祭りなどにも積極的に参加しています。利根町管内において、ここ数年で、有害鳥獣の捕獲頭数が増加した要因の一つとして、協力隊員の活動が起因していると評価しています。

○鳥獣対策事業
 33,016,188円
質疑趣旨 野猿動向の把握はどの程度できたのか、地区猟友会の鳥獣対策活動をどの程度把握しているのか伺います。
答弁趣旨 池田地区及び利南地区で2名の調査員がテレメトリ発信機を装着したサルの動向を把握し、2群の野猿が活動してい



サル捕獲用のオリ

ることがわかってます。活動については、各実施隊長より活動に対する日報を提出していただき確認しています。
質疑趣旨 実施隊や猟友会などの高齢化が懸念されているが、どのような検討を行ってきたのか伺います。
答弁趣旨 実施隊員の高齢化が進んでいると承知しており、隊員の負担軽減について、聴き取り等を行い検討を行っています。
○真田街道連携事業
 1,201,621円
質疑趣旨 事業の成果と課題について伺います。
答弁趣旨 真田街道推進機構に加盟する群馬、長野両県の13市町村に和歌山県九度山町などを加え、真田氏ゆかりの地をめぐるスタンプラリーや観光キャンパ



多くの観光客を迎えた沼田公園

ることがわかってます。活動については、各実施隊長より活動に対する日報を提出していただき確認しています。
質疑趣旨 実施隊や猟友会などの高齢化が懸念されているが、どのような検討を行ってきたのか伺います。
答弁趣旨 実施隊員の高齢化が進んでいると承知しており、隊員の負担軽減について、聴き取り等を行い検討を行っています。
○真田街道連携事業
 1,201,621円
質疑趣旨 事業の成果と課題について伺います。
答弁趣旨 真田街道推進機構に加盟する群馬、長野両県の13市町村に和歌山県九度山町などを加え、真田氏ゆかりの地をめぐるスタンプラリーや観光キャンパ

ることがわかってます。活動については、各実施隊長より活動に対する日報を提出していただき確認しています。
質疑趣旨 実施隊や猟友会などの高齢化が懸念されているが、どのような検討を行ってきたのか伺います。
答弁趣旨 実施隊員の高齢化が進んでいると承知しており、隊員の負担軽減について、聴き取り等を行い検討を行っています。

ーンに参加することで、多くの方に「真田の里 沼田」を認識、訪れていただきました。

この効果を一過性のものにすることなく、「天空の城下町 真田の里 沼田」のPRを行い、真田氏を中心とした歴史資源の活用、魅力の発信に努めたいと考えています。

○沼田市空き家対策

質疑趣旨 空き家把握調査の具体的な空き家の対応と調査結果について、危険空き家の対応とその検討について伺います。

答弁趣旨 各町内で1年以上居住実態がないと思われる空き家の調査を区長にお願いし、815件の報告をいただきました。

815件の空き家のうち10件程度、早めの対策が必要なことから所有者に必要な措置を講じるよう求め、4件の解体につながりました。

○3・3・1環状線(栄町工区)事業

194,628,814円

質疑趣旨 用地取得の内容と事業計画に対する買取達成率について、未買取区間と所有者人数について伺います。

答弁趣旨 用地取得は、権利者2名から合計面積1,566・1

1平方メートル、合計金額6,799万9,926円の用地買取を実施しました。買取達成率は、事業計画面積2万253・7平方メートルに対し、累計1万1,496平方メートルを取得しており、達成率は56・8%です。

未買取区間は沼田脳神経外科病院駐車場西側から東に向かって約450メートルで、所有者は33名です。



事業が進む中心市街地

○中心市街地土地区画整理事業

367,687,337円

質疑趣旨 事業全体の今後の見直しも含めた検討内容について伺います。

答弁趣旨 本市の財政状況を踏まえ、事業をどのように効率的に進めるか検討しながら、事業の進捗を図っています。

テラス沼田整備、文化財の集約並びに1街区、2街区及び4街区の建物移転の進捗などにより、未整備街区で協議が活発化していることから、具体的な見直しには至っていません。

○給食管理事業

182,899,236円

質疑趣旨 給食中に食物アレルギー反応が出た場合の対策マニュアルは整備されているか伺います。

答弁趣旨 県教育委員会が作成した「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を参考とし、本市の実情に合わせ統一した手順や基準を定めるとともに、給食に限らず日常の教育活動においても食物アレルギーを保持児童・生徒へ適切に対応することを目的として、「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成しています。

○教育振興管理費

36,206,982円

質疑趣旨 要保護及び準要保護児童児童援助費の援助内容について伺います。

答弁趣旨 要保護の対象は、生活保護法に規定する要保護者の家庭で、福祉担当部門から支給されている教育扶助費の中に含まれない修学旅行費の実費の全額

を支出しています。準要保護の対象は、生活保護を受けている家庭に準ずる程度に生活が困窮していると教育委員会が認めた家庭で、小中学校で必要な諸費用として、学用品費、校外活動費、学校給食費などを支出し教育活動に円滑に取り組めるようにしました。

○沼田城遺跡発掘調査事業

14,685,174円

質疑趣旨 調査目的と成果と課題について伺います。

答弁趣旨 330年以上前に破却された沼田城の石垣や堀、建物跡など遺構の状況を確認、上位の史跡指定を目指し、城跡の保存整備を念頭においています。

天守推定地付近で、小規模な石組みや複数の柱穴が発見されましたが、天守に直接結びつく



沼田城遺跡発掘作業の様子

遺構は検出されず、天守付近は大きく破却されていることが判明しました。出土品の状況から天守やその北側の堀の石垣は破却されているものの、堀から出土した瓦の廃棄量の多さや、金箔の出土から、この堀の南に、金箔の使用された大きな瓦屋根の建物、すなわち天守が存在していたことが想定されます。

○(仮称)利南運動広場整備事業

4,750,386円

質疑趣旨 整備にむけてどのような検討がされたのか伺います。

答弁趣旨 基本設計修正業務委託が完了した平成28年6月末以降、その内容を基に、関係団体に説明を行い、意見を伺うとともに、関係機関への相談、協議を行いながら、整備手法、整備スケジュール、施設の規模、建設コスト、ランニングコストなどの検討を行いました。

傍聴へ来ませんか

次回の定例議会は、12月5日の火曜日、午前10時からを予定しています。
市民の皆様は傍聴で、なお一層の緊張感のある議会となります。
ぜひ傍聴にお越しください。

決算審査特別委員会 委員長報告要旨

本特別委員会は、9月20日から延べ4日間にわたり、質疑を中心に慎重な審査を行い、9月25日採決の結果、賛成多数によりいずれも原案可決及び認定すべきものと決しました。

一般会計の決算状況は、歳入で、市税、国庫支出金等は増加しましたが、合併算定替えの縮減による地方交付税の減額、県支出金、市債等が減少したことで減収となったものです。

歳出では、民生費、労働費、教育費が増加しましたが、他の款では減少しており、行政のスリム化及び効率化が図られたと認められるものです。

財政力指数は、前年度と同率であるものの、経常収支比率及び公債費負担比率では、前年度より悪化しており、依然として厳しい状況です。

水道事業会計では、給水人口の減少や節水型社会の定着等により、水需要の大幅な増加は見込めない状況ですが、適正な事業運営及び財政運営が図られたものと認められるものです。

審査の過程で出された主な事項として、18歳選挙権をふま

高校生を加えた「子ども議会開催事業」及び自主防災組織の組織率の向上が図られた「ひとを守る・まちを守る防災ぬまた推進事業」については、評価するものです。また、「準市民交流事業」は、参加者増加のため、内容の再検討を望みます。沼田女子高等学校と協働で作成したチラシと時刻表を活用した「市町村乗合バス運行事業」及び、CO₂の排出削減により環境負

荷の低減を図った「自然エネルギー利用推進事業」については、時代のニーズに即したものと評価し、更なる推進を願います。「ハッピープロジェクト事業」は、結婚応援により人口増加に向けた支援体制の充実を求めます。「鳥獣対策事業」は、農作物への被害を最小限におさえた事業で、更なる検討を求めます。

沼田市の認知度を上げた「真田街道連携事業」については、観光客の増加に繋がり大変評価できます。事業の進捗が図られました。

「3・3・1環状線(栄町工区)事業」「中心市街地土地区画整理事業」は、ていねいな市民説明を行いさらなる推進を願いま

す。「給食管理事業」では食の安全のための徹底管理を、「教育振興管理費」では、利用者に配慮した対応を求めます。「沼田城遺跡発掘調査事業」は、早期の上位文化財指定を切望し、今後の進展を期待します。「(仮称)利南運動広場整備事業」は、建設費及びランニングコストなどの削減を期待します。

本特別委員会は、本決算について総体的にはその成果を認め、賛成多数により認定すべきものと決しました。

反対討論要旨

職員の仕事量も密度も増えるなかで、職員の削減がおこなわれてきましたが、これ以上の職員削減には無理があり、削減の流れを転換させるべきです。

マイナンバー制度が実施されましたが、カード交付は期待ほど伸びず、利用の仕方や個人情報報の流失に対する不安は根強いものがあると考えられます。安全面でも利用面でも未確立な制度の中止を国に求めるべきです。

子育ての不安、経済的な負担を軽減し、子育て世帯を応援し人口減少に歯止めをかけることをめざして、保育料の無料化に

むけた取り組みをスタートさせるべきでした。

テラス沼田は、長年の重要問題を一気に解決したことは評価しますが、一か所ですべての行政サービスが完結できるのか、維持管理費の軽減などの検討、取り組みは不透明で、不安が払しょくされませんでした。

住宅リフォーム制度は2か年の事業としてスタートしましたが、これまでに制度の充実にも取り組んでこられたことは評価しますが、経済的波及効果について他市の状況なども調査・研究し、補助額・補助率の増額等や二度目の利用を認めるなど制度の拡充をすすめることが必要でした。

環状線事業については、栄町工区の進展は様々な苦勞を克服し取り組んだことは評価されるなか、人口減少が予想されるなか、4車線での建設ではなく、2車線での建設など見直しが必要でした。

(仮称)利南運動広場の整備には多額な財政負担が伴うとともに稼働率の不安は払拭されず、利用しやすい施設とするとも維持管理費の削減にむけた取り組みには不安を感じます。

財政状況は厳しい中であったにもかかわらず、行政のスリム化及び効率化が推進され、財政基盤の強さを示す財政力指数は前年度と同率で、歳入、歳出の状況を総合的に見てもかなりの努力がうかがわれます。

実質公債費率は9・7%となっておりませんが、さらなる改善を望みます。起債については、今後も景気の動向を見極めながら、将来にわたる公債費負担を熟慮し、長期的な視点に立つて慎重な判断を望みます。

懸案事項でありました3・3・1環状線(栄町工区)事業では用地取得及び道路改良工事が実施され、やさしさ・にぎわいの核整備事業では1街区でトイレ新築工事及び外構工事と、共に目に見える形で進捗しており大いに評価するものです。

賛成討論要旨

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

また、沼田公園長期整備構想に伴う、(仮称)利南運動広場整備事業や、旧土岐邸洋館保存整備事業並びに旧沼田教会記念会堂保存整備事業など着実に進捗していること、企業誘致推進事業では、横塚生品農工地区道路改良の進捗に向けた取り組みや、

グリーンベル21整備事業では実施設もまとも、平成31年度供用に向けて市民サービスの向上に対する取り組みが図られたことについても評価します。

しかしながら、本市の財政構造は、国の交付金に頼らなければならず引き続き自主財源の確保に努めなければならない状況にあります。

身の丈にあつた市政運営を、市長を先頭に、職員一同一丸となつて進めて行くことをお願いして賛成討論とします。

**議案第56号
平成29年度沼田市一般会計補正予算(第2号) (概要)**

本補正予算は、国県支出金の確定、制度改正などにより既決の予算に増減を生じるもの及び緊急に措置しなければならぬもの、人事異動に伴う現員現給の人員費及び普通交付税の交付額決定に伴う財源措置などにより、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,075万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ238億6,734万円とするものです。

【歳出】
第10款教育費は、1,599万

2,000円の追加ですが、小学校費では、小学校建設費で利根小学校管理用備品購入費の計上、保健体育費では、保健体育総務費で東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿推進に係る経費の計上、給食施設費で、給食センター基本設計業務委託料の計上などです。

**議案第66号
市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書案について (概要)**

財政状況が厳しい市町村の道路事業を着実に進捗させるため、平成30年度の予算編成にあたり、次の事項を講じるよう強く要望します。

- 一 市町村道路整備事業が計画的に進捗できるよう、必要な交付金予算の事業費総額を持続的に確保すること
- 一 長期安定的に道路整備が進められるよう、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の高上げ措置を平成30年度以降も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年第4回市議会9月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	議員																		
				1 林清史	2 永井敏博	3 桑原敏彦	4 茂木清七	5 中村浩二	6 坂庭直治	7 星野妙子	8 金子浩隆	9 井上弘	10 高柳勝巳	11 高山敬也	12 野村洋一	13 久保健二	14 小野要二	15 大東宣之	16 井之川博幸	17 大島崇行	18 大竹政雄	19 星野稔
報告	9号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	49号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50号	利根小学校校舎建築工事請負契約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51号	沼田市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52号	平成28年度沼田市一般会計及び特別会計7件の歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	53号	平成28年度沼田市水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	54号	沼田市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55号	沼田市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56号	平成29年度沼田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57号	平成29年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58号	平成29年度沼田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59号	平成29年度沼田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60号	平成29年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61号	平成29年度沼田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62号	平成29年度沼田市電気事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63号	平成29年度沼田市水道事業会計補正予算(第1号)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64号	沼田市教育委員会の委員任命の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65号	沼田市公平委員会の委員選任の同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66号	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書案について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	2号	人権擁護委員の推薦について	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者

編集後記

今平成27年4月沼田市議会議員選挙により4年間を託された議員任期も折り返し地点を通過、平成29年5月臨時議会では正副議長が改選され、3つある常任委員会も構成替えとなりました。「議会の今を伝える」沼田市議会だよりは市議会議員7名が編集委員となり、定例議会の内容・議員の一般質問と答弁・予算、決算審査の概要報告などをお伝えしています。市民皆様は手にとっていただき読んでいただける紙面構成を目指し、毎回真剣に取り組み、今後も市民皆様との情報共有に努めてまいります。その一環として前回46号より市議会定例会での各議員の賛否状況が紙面最終ページに掲載されました。

沼田市の喫緊の課題は山積みです。少子高齢化による人口減少への対応、合併特例債を使用している大型事業に対する財政運営の行方等を議会としてしっかりと審議してまいります。

12月議会は12月5日より開会予定です。市民皆様も是非市議会を傍聴下さい。

編集委員 星野 妙子